

厳原港（厳原地区） 旅客船埠頭再編

既存岸壁の更新、および手狭となっている埠頭の再編を行い、国内線と国際線を分割するなど、利用者にとって安全・安心で使いやすい港湾の形成を図る。



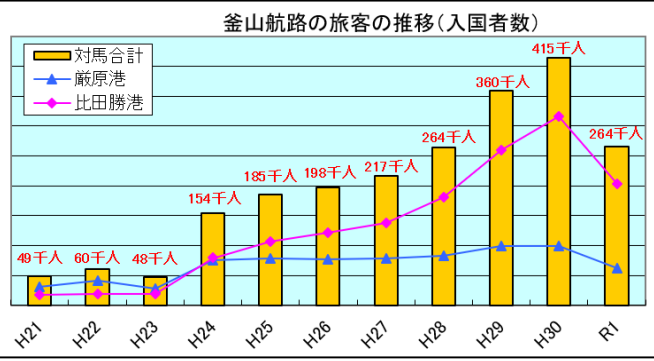
<事業概要>

事業主体：国、長崎県、対馬市

事業期間：平成24年度～令和4年度（目標）
(R2.12国内ターミナル暫定供用目標)

事業内容：(国) 岸壁(-5.5m)
(県) 岸壁(-7.0m)、物揚場、浮桟橋、可動橋、道路、緑地 等
(市) 旅客ターミナルビル

<急増する釜山航路利用者>



釜山航路で対馬を訪れる人は、H30には過去最高の約41万人。

旅客ターミナル機能の再編

急増する釜山航路利用者を受け入れるため国内と国際ターミナル機能を分離。緑地を整備するなど、対馬の玄関口にふさわしい機能を確保する。



利用者急増に伴い、機能が不足

